



自治労連
新聞

ふりーじあ

本部 〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 北区役所B1 全連協事務所内 (03)3907-5177

全国自治団体労働組合連合

ふりーじあ 第44号

発行日：令和2年1月

自治労連教宣部発行



新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、自治労連の諸活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、執行部を代表いたしまして、心よりお礼申し上げます。

新年を迎えるにあたり、2020年の自治労連は、各構成組織の拠り所となるための更なる成長、そして組合員皆さまが、安心して公務を遂行するために必要な労働環境等の課題の解決に向けた取り組みを中心に、将来に希望ある心豊かな未来の実現のため、執行部一同、より一層の努力をしてまいりたいと決意を新たにしております。

2020年、子年は、干支のスタートであり、「ねずみ年」は、子孫繁栄、新規事業に吉という縁起が良い年でもあります。私ども自治労連も50周年という大きな節目から、もうすぐで1年を迎えます。今年1年が、半世紀の間、大きく育った自治労連という「大樹」をどのように舵を切って葉を付け花咲かせるかを占う意味で大事な年になります。

新たな気持ちで、新年を迎え、その第一歩を各構成組織の皆さんと共に考え、組合員皆さんに寄り添い、時代に即した取り組みの中で、将来的なビジョンを持って進めていく、そして、旧年中に構想してきた、「ホップ、ステップ」にあたる部分を、本年は実践の年とし「ジャンプ」できる年にしたいと存じます。

昨年を振り返ってみると、台風19号をはじめ、大型台風などに立て続けに見舞われた記録的な豪雨により、全国的に多くの災害が発生した一年でした。このような中、公務員の使命は住民生活に必要なライフラインの早急な復旧にあります。その際に必要な職員力は欠かすことができないものです。しかしながら、それを担う地方自治体の職員数は平成6年をピークに約54万人が行財政改革等により減少し、このことは有事の際に人手不足として顕著に表れるることも否めません。

一方、私たちが今まで過去に経験したことがないスピードでAI、IOT、RPAと呼ばれる技術や次世代通信5G等の技術革新を目の当たりにすると、職員数及び職員力を補うツールとしての登場も決して遠い未来の話ではなく、私たちの職場環境にも大きな影響を与えるものです。

このような中にあっても、私ども自治労連は、公務・公共サービスに従事する労働組合としての社会的責任を果たすため「友愛・信義」の精神のもと、住民の幸せのためにしっかりと対応を

継続していくことが「住民に理解される労働運動」、そして社会主義に繋がっていくものと認識しております。

さて、現在我が国の景気は、緩やかに拡大していると言われているものの、地方経済におきましては、いまだ厳しい先行き不透明な状況が続いております。また、米中貿易摩擦の長期化、日韓関係の通商問題等の緊迫した国際情勢、日本各地で相次ぐ甚大な自然災害など、経済や日々の暮らしへの影響が懸念されているところです。また、労働環境に目を向けてみると、民間労働法制においては、罰則付きの時間外労働の上限規制について、経過措置が設けられていた中小事業にも、令和2年4月より適用となります。そして、国家公務員においては、職員の長時間労働を是正するため、民間労働法制の改正を踏まえ、超過勤務の上限の設定等の措置が平成31年4月より導入されました。地方公務員においても同様に時間外勤務の上限の設定等の措置のため、一部の自治体を除き、ほとんどの自治体で条例等の改正がなされ講じられています。

昨年の人事院勧告に目を移しますと、月例給が0.09%、387円、一時金の支給月数を0.05月それぞれ引き上げる内容は、6年連続の引上げ勧告ということもあり、一定の評価ができるますが、一方では住居手当の上限額、下限額の見直しがなされ、増額よりも減額となる組合員が多くを占める結果となり、公務員を取り巻く環境は、依然として厳しい状況と言わざるを得ません。

2020年春闘が始まり、春には牽引する大手は山場を例年迎えますが、今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催される年でもあります。経済の好循環を期待するとともに、すべての働く者の将来不安を払拭し、「経済の自律的成長」「社会の持続性」を実現するため、自治労連として出来ることをしっかりと見定め、取り組んでいく必要がございます。

本年も、自治労連に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして、今年一年が実り多い年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

全国自治団体労働組合連合

中央執行委員長 久富 健一

